

平成 2 5 年 9 月

富 山 市 議 会 定 例 会

市 長 提 案 理 由 説 明 要 旨

平成 25 年 9 月定例会市議会の開会にあたり、提出いたしました案件の概要等について申し上げます。

(はじめに)

初めに、第 95 回全国高等学校野球選手権記念大会について申し上げます。

大会 7 日目の第 1 試合から出場した富山第一高校は、春夏を通じて初出場とは思えないほど堂々とした試合運びで強豪校を次々と破り、夏の甲子園では県勢としては、昭和 48 年の富山商業高校以来、40 年ぶりとなるベスト 8 進出を果たしました。

目標とする甲子園 3 勝目、ベスト 4 進出を賭けた試合では、逆転を繰り返す、手に汗握る好試合となり、惜しくも敗れはしましたが甲子園に富山旋風を巻き起こしてくれました。

8 月に入り連日平年の最高気温を上回る猛暑となっておりましたが、暑さも忘れるほどの夢と感動を 42 万市民に与えてくれた選手の皆さんに、心からねぎらいと感謝を申し上げます。

(参議院議員選挙について)

次に、参議院議員選挙について申し上げます。

7 月に実施されました参議院議員選挙では、与党が非改選議席を合

わけて過半数の議席を確保し、衆参両院で多数派が異なる、いわゆる「ねじれ国会」が解消されました。

これは国民が安定した政権と政権運営への期待感を求めた結果であらうと思っております。

わが国においては、深刻な財政難の中、少子高齢化と人口減少社会に向き合うため、社会保障と税の一体改革を軌道に乗せること、さらには、諸外国の信頼をより厚いものとするため1千兆円を超える債務に速やかに対処することなど、数多くの課題を抱えております。

安倍政権におかれましては、国民の負託に応えるためにも、金融政策、財政政策に続く第3の矢として放った「日本再興戦略」や、「経済財政運営と改革の基本方針」いわゆる「骨太の方針」のもと、実効性のある施策を、スピード感を持って進められることを期待しているところであります。

(社会保障制度改革について)

次に、社会保障制度改革について申し上げます。

政府は、社会保障制度改革国民会議の審議結果を踏まえ、先般、社会保障制度改革推進法に基づく法制上の措置として、社会保障制度改革の推進に関する骨子を閣議決定されました。

この骨子には、自治体に大きく関係する少子化対策、医療制度、介

護保険制度等に係る改革項目の今後のスケジュールや方向性が示されております。

今後、この改革を推進するにあたっては、社会保障の現場を担う基礎自治体の理解と協力が不可欠であります。

自治体が改革の実現に向けて適切に役割を果たせるよう、国は、責任を持って必要な財源を確保されること、そして自治体と十分な協議を重ね、その意見を確実に反映されることを強く要望いたします。

(最近の経済情勢について)

次に、最近の経済情勢について申し上げます。

8月の月例経済報告によれば、景気は着実に持ち直しており、自律的回復に向けた動きもみられるとされております。

先行きについては、輸出が持ち直し、各種政策の効果が発現するなかで、企業収益の改善が家計所得や投資の増加につながり、景気回復へ向かうことが期待されております。

また、県内の景気も緩やかに持ち直しており、輸出環境の改善や経済対策などを背景に、次第に景気回復へ向かうことが期待されております。

その一方、設備投資に関しては国・県ともに動きが弱く、「日本再興戦略」が目標とする、消費の増加と新たな投資の誘発という好循環

は未だ実現しておらず、地域や中小企業にも波及しているとは言えない状況にあります。

本市としては、国と連携して行った本年 2 月補正予算や、この補正予算と一体的に編成した平成 25 年度当初予算などによる経済対策が、今後、緩やかながらも着実に効果を上げていくことを期待しているところでもあります。

(来年度予算編成について)

次に、来年度予算編成に向けた考え方について申し上げます。

国の平成 26 年度予算の概算要求基準では、年金・医療等にかかる経費などを除く裁量的経費について前年度に比べ 10 パーセント削減し、前年度予算の重点であった防災対策などのほか、「経済財政運営と改革の基本方針」及び「日本再興戦略」等を踏まえた諸課題について「新しい日本のための優先課題推進枠」を設け、予算の重点化を進めることとされております。

一方、本市の平成 26 年度予算を取り巻く財政環境は、依然として大変厳しいものと予測しております。

歳入では、住宅着工件数の増加から固定資産税では一定の増収が見込まれるものの、その他の税目では伸びが見込めず、主たる歳入である市税について大幅な増収は見込めないところでもあります。

また、歳出では公債費が依然として高い水準にあり、少子高齢化の影響から扶助費も増加すると見込まれます。これに加えて、平成 26 年度は待ち望んできた北陸新幹線の開業の年にあたり、来街者を迎えるための開業準備に最大限の配慮が必要であるとともに、総合計画や環境未来都市計画、中心市街地活性化基本計画に位置づけた事業や、地域経済の活性化に資する事業に要する経費も盛り込まなければならないことから、極めて厳しい予算編成になるものと考えております。

新年度予算編成にあたりましては、程なく最終判断がなされる消費税率の引上げを含め、国の動向を十分に見極めながら、市税や地方交付税などの一般財源の確保に努めつつ、事業再点検の検証結果なども反映させ、予算の重点的・効率的な配分に努めてまいりたいと考えております。

(提出案件について)

次に、提出いたしました案件について、その概要を申し上げます。

(1 予算案件について)

予算案件については、国・県の追加承認に伴うものなどの補正を行うものであり、一般会計では 21 億 9,400 万余円を追加するものであります。また、介護保険事業などの特別会計では 2 億 8,900 万余円、

病院事業などの企業会計では5,400万余円を追加するものであります。

次に歳出予算の主な内容について申し上げます。

(①国・県の追加承認に伴うもの)

まず、国・県の追加承認に伴うものとして、富山駅の南北自由通路の床に設置する工芸ガラスブロックの制作に要する経費、路面電車の南北接続に向けた信号設備等の整備に要する経費、幹線市道や街路の整備、火防水路の改良及び河川改修に要する経費などを計上しております。

(②その他の事業)

その他の事業としては、各分野における文化人・著名人で構成する

ゼロワン

「エンジン 0 1 文化戦略会議」が主催するオープンカレッジを誘致するために要する経費、大和百貨店跡地に建設中のガラス美術館周辺に、ガラス制作教室やガラス工芸品の販売ができるミニ工房を整備するために要する経費、次世代自動車の普及を加速的に促進するため、民間事業者が行う充電インフラの整備を支援する補助金、橋りょう台帳の整備に要する経費などを計上しております。

基金への積立てについては、決算剰余金の一部を減債基金に積み立てるものであります。

債務負担行為については、学校給食の調理や配送等の業務委託について、限度額を設定するものであります。

(③特別会計)

特別会計については、介護保険事業では、前年度未処分剰余金の基金積立てに要する経費など、企業団地造成事業では、ハイテク・ミニ企業団地の一部を再整備・分譲するための経費、農業共済事業では、前年度決算剰余金を基金へ積み立てる経費を計上しております。

(④企業会計)

企業会計については、病院事業において、地域医療連携システムの更新に要する経費などを計上しております。

また、公共下水道事業では、浜黒崎浄化センター等の維持管理業務委託についての債務負担行為を設定するものであります。

以上が歳出のあらましですが、これらに要する財源としては、一般会計では事業に伴う国・県支出金、地方債及び繰越金などを充てております。

また、特別会計・企業会計では地方債、繰越金などを充てております。

(2 その他の案件)

次に、予算以外の案件について申し上げます。

まず、条例案件については、「富山市市税条例の一部を改正する条例」を制定するものなど2件であります。

契約案件については、速星小学校校舎増築主体工事の請負契約を締結するものなど2件であります。

その他の案件については、字の区域の変更及び廃止の件など7件あります。

報告案件については、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定に基づき、平成24年度決算における健全化判断比率及び資金不足比率について、監査委員の意見を付して報告するものなど4件あります。

また、決算の認定については、平成24年度一般・特別・企業の各会計について、監査委員の審査を経ましたので、議会の認定を求めます。

以上が、今回提出いたしました案件の概要であります。

何とぞ慎重審議のうえ、適正な議決をいただきますよう、よろしく
お願いいたします。